

経済史・経営史特別演習 A b

担当教員 [Instructor] : 小田中 直樹

曜日・講時 [Day/Period] : 後期集中 その他 その他

対象学年 [Eligible Participants] : 全/All

科目ナンバリング [Course Numbering] : EEM-ECM670B 単位数 [Credit(s)] : 1

1. 授業の目的と概要 [Object and summary of class] :

本演習は、近世・近現代の日本、アジア、欧米諸地域の歴史に関心を持つ研究者の交流を通じて経済史・経営史に関する幅広い知識と歴史研究に要する分析能力を身に付ける機会を提供し、各履修者の研究テーマに関する報告・討論を通じてプレゼンテーションおよび史料批判の方法について学習することを目的とする。ここでは特に論文作成に向けて直接の指導教員だけでなく他のアカデミック・スタッフからアドバイスを受けることに主眼を置くとともに、研究内容について様々な視点から吟味できるようにセミナーの雰囲気づくりにも配慮したい。

To get knowledge about economic and business history by presentation of each participants' own researches and Q and A.

To get advice from many faculties over the completion of M.A. and Ph.D. Thesis.

2. 学修の到達目標 [Goal of study] :

修士・博士論文の完成に向けて論理の組み立て、史料分析、文献引用を中心に、これらを厳密に行う能力を養う。

To get academic capacity necessary for completing M.A. and Ph.D. thesis.

3. 授業内容・方法と進度予定 [Contents and progress schedule of the class] :

履修者は、詳しいレジュメをもとに各自の研究課題、リサーチの意義、独創性などに触れながら、50～60分程度の報告を担当する。その後、上記担当教員の指導を含め、参加者全員でディスカッションを行う。特にマスター2年目の院生は、修士論文提出期限までの期間を考慮し、完成度の高い研究報告を行うことが望まれる。

前期・後期初回のオリエンテーションの際に報告の順番を決定するので、履修希望者は必ず各学期最初の授業に出席し、本演習の進め方について説明を受けること。最初の授業の日時・教室等は掲示にて通知する。

Presentation of his/her own research followed by Q and A.

4. 実務・実践的授業 [Practical business]

5. 使用言語 [Language Used in Course] :

6. 成績評価方法 [Evaluation method] :

研究報告による。

Presentation will be evaluated.

7. 教科書および参考書 [Textbook and references] :

8. 関連 URL [URL] :

なし

9. 授業時間外学修 [Preparation and Review] :

各教員の指示に従う。

10. その他 [In addition] :

履修の条件：経済史・経営史に関心があること。

その他：関連学会の東北地区部会などについてのアナウンスも行いますので、研究の向上のためにそれらにも参加されることを希望します。

You are strongly required to participate in the first class.